



掲載にあたって(二〇〇九年度卒業論文要旨集)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2012-01-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 中島, 和歌子 メールアドレス: 所属:
URL	https://hokkyodai.repo.nii.ac.jp/records/7336

二〇〇九年度卒業論文要旨集

掲載にあたって

四年目担任・古典文学担当 中島和歌子

四年前の北海道教育大学の全学規模の改組により、平成十一年度の改組で三つに分かれていた国語科担当教員六人が、再び教員養成課程・基礎学習開発専攻・国語グループに集まった。学校教育教員養成課程・社会・言語系・国語国文学専攻の三人（漢文学・後藤秋正、国語学・吉見孝夫、中島）、同・授業基礎開発系・教育実践専攻の一人（国語科教育学・吉原英夫）、国際理解教育課程・日本語日本文化分野の二人（近代文学・西原千博、日本語学・馬場俊臣）である。学生数も、平成十年度以前と同様の約二十五名に戻っている。

さらに、岩見沢校と日本語日本文化分野から二名（国語科教育学・清野隆、日本語教育学・阿部二郎）が新たに加わり、卒業論文の指導体制が厚みを増した。喜ばしいことである。

しかし国語グループでは、卒業要件免許状が小学校教諭一種のみとなり、演習が必修科目からはずれ、講義形態の講読すら履修せずともよい、卒論執筆や小学校の国語科の得意な教員となるために必要な国語力が十分身に付けられないカリキュラムになっている。また、学生どうしのつながりが同学年間でも薄れ、教え合い助け合う環境が、以前ほどではなくなってきた。

以下、さまざまな変化の中で、各自できるかぎりの努力をして、完成にこぎつけた学生達の卒業論文（原稿用紙五十枚から百五十枚余り、手書き）の要旨である。